

*本リリースの赤字部分は、
4月16日以降に修正した情報になります。
(2019年4月26日)



2019年4月16日
六本木アートナイト実行委員会

「夜の旅、昼の夢」をテーマに、六本木の街を舞台にしたアートの饗宴 『六本木アートナイト2019』

言葉を越えて喜びや感動をもたらすアートの力を、オールナイトで満喫しよう！
六本木の街なかを移動する赤い玉、巨大バルーン、光る鳥、浮遊する岩など、
プログラム内容が決定！

2019年5月25日(土) 10:00～5月26日(日) 18:00
コアタイム：25日(土) 18:00～26日(日) 6:00



六本木アートナイト2019 メインビジュアル

六本木アートナイト実行委員会は、2009年の開始から今回で10回目※を迎える六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト2019」のメインイベントを2019年5月25日(土)～5月26日(日)の2日間開催いたします。「六本木アートナイト」は、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に、東京を代表するアートの祭典として浸透してきました。

今回のテーマ「夜の旅、昼の夢」に沿って、アジアの現代アート界を代表するアーティスト、チェ・ジョンファをはじめ、多くのアーティストが六本木の街を舞台に、街中にアートスポットを点在させます。現代アート、デザイン、映像、パフォーマンスなどの多様な作品に加え、体験・参加型のプログラムも夜を通して多数実施します。また、「六本木アートナイト2019」当日は、各美術館やギャラリー、施設で開催されている展覧会の特別プログラムや、開館延長など連動企画も満載です。

国内外のアートが集まり、グルメ、ショッピング、映画が楽しめる六本木。デートはもちろん、親子で、友達同士で街歩きをしながら、六本木の街にとけこむアート作品を見て、感じて、触れて、心ときめくアートな週末をお楽しみください。

※2011年は東日本大震災により中止

六本木アートナイト2019 開催に向けたコメント

六本木アートナイト実行委員長 南條 史生（森美術館 館長）

第10回目となる今年の六本木アートナイトは「夜の旅、昼の夢」をテーマにかかげ、六本木の街が、昼夜を問わずアートの祭りとなります。今年は初めて海外のアーティスト、チェ・ジョンファ氏をメインプログラム・アーティストとして招聘し、大型の作品を各所に配置しています。

チェ氏はすでに2010年と2016年の六本木アートナイトに参加しており、六本木アートナイトについても、六本木の街もよく知っているのので、ワークショップなどを通して、街と人々にさまざまな関わりをもたらしてくれるでしょう。今回は街中に、なるべく多くの作品を展開しようと試みています。夜は親しい友人とアートに彩られた六本木の夜をゆっくり楽しんでほしい、また昼間も家族連れで現代のアートを体験してください。東京で開催される最大のアートイベントとして、今後ますます盛り上げていきたいと思えます。



※各プログラム概要は、次頁以降をご参照ください。なお本リリース内容は2019年4月時点のものであり、今後変更になる場合があります。

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (PR01.内) 担当：三上・小谷
TEL：03-5774-1420 FAX：03-5774-1409
Mail：ran2019@one-o.com



「六本木アートナイト2019」のテーマ「夜の旅、昼の夢」に沿って、六本木の街を彩る、広域にわたるプログラムが各エリアを繋ぎます。

メインプログラム | チェ・ジョンファ(崔正化)

六本木ヒルズ 《フルーツ・ツリー》



完成イメージ

果物や野菜がぎゅっと詰まった《フルーツ・ツリー》は、韓国のアーティスト、チェ・ジョンファによるカラフルなバルーン彫刻。六本木ヒルズアリーナを鮮やかに飾ります。枝から落ちたような果物や野菜はアリーナに配置され、空間を魔法の庭へと変えて見せます。合成ビニール製の彫刻は、自然界と人工物の双方にある美しさを表現しています。

- ・日 時：5/25(土) 17:30～5/26(日) 6:00、11:00～18:00
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料

六本木ヒルズ チェ・ジョンファ×南條史生「アーティスト・トーク」



撮影：Kim Dowon

「六本木アートナイト2019:夜の旅、昼の夢」メインプログラム・アーティストのチェ・ジョンファが、実行委員長の森美術館館長 南條史生とトークします。

- ・日 時：5/25(土) 21:00～21:30
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料

東京ミッドタウン 《ライフ・ライフ》



《ライフ・ライフ》では、約1万個のくねくねバルーンが巨大な色彩の塊となって、空間に向かって飛び出しています。チェ・ジョンファはアメリカで1960年代に注目されたポップアートに着想を得て、日常に溢れたカラフルなオブジェクトを素材に作品を制作してきました。それらは人生やその豊かさを謳歌しつつ、過剰な消費によって支えられている私たちのライフスタイルにも意識を向けさせます。本作は子供の頃の楽しい思い出を想起させるだけでなく、モノに溢れた現代世界の様相も示唆しているのです。

- ・日 時：5/25(土) 10:00～5/26(日) 18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザ1F キャノピー・スクエア
- ・参加料：無料

国立新美術館、TRI-SEVEN ROPPONGI 《みんなで集めよう》



完成イメージ

チェ・ジョンファはプラスチック製の大量生産品や一般の台所用品に美しさを見出し、まるで錬金術師のように質素な素材を魅力的なアートに作り変えます。

《みんなで集めよう》はコミュニティベースのアートプロジェクトです。プラスチック製のカゴ、お皿、鍋などを自宅から寄付してもらい、それらを土台に設置された棒を通して積み重ね、抽象的な彫刻や寺院の柱のように見える作品を制作します。作品の鮮やかな色と個性豊かなフォルムが、国立新美術館の正門チケットブース横等を飾ります。

- ・日 時：5/25(土) 10:00～5/26(日) 18:00
- ・場 所：国立新美術館、
TRI-SEVEN ROPPONGI 龍土町美術館通り沿いブルーボトルコーヒー前
- ・参加料：無料

<チェ・ジョンファ(崔正化) プロフィール>

1961年韓国ソウル生まれ、同在住。ヴェネチア・ビエンナーレ2005では韓国館の代表に選ばれたほか、リバプールやシドニー、台北、リヨンなど世界中の芸術祭に参加している。また、平昌2018パラリンピック冬季競技大会では、開会式・閉会式のアートディレクターを務めるなど活躍の幅を広げている。



撮影：Kim Dowon

RedBall Project (レッドボール・プロジェクト)

これまで32都市で実現され、六本木アートナイトで日本初上陸となる《レッドボール・プロジェクト》は、アメリカ人アーティストのカート・パーシキーによる周遊型パブリックアートです。ゴムボールで出来たこの巨大な赤玉は、ある場所から別の場所へと毎日移動を繰り返しながら、六本木の街なかを一週間にわたって巡回します。固定、静止、永久的など、通常のパブリックアートの枠組みからユーモラスにはみ出す赤玉は、その絶え間ない動きで、街の地図を描き直します。このプロジェクトは、私たちの都市への視点を拡張させ、ありふれた生活空間に新たな活力を与えるでしょう。

- ・日 時：5/20(月)～5/26(日)
- ・場 所：六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館、その他
1日1か所全部で7か所（予定）
※荒天の場合は中止の可能性あり
- ・参加料：無料

※展示時間と場所に関する詳細は公式サイトでお知らせします。



撮影：Kurt Perschke シカゴでの展示風景



撮影：Tom Martin

< カート・パーシキー (Kurt Perschke) プロフィール >

1986年米国シカゴ生まれ、ノースカロライナ州アッシュビル在住。カート・パーシキーは幅広い年齢層の観客に新しい体験をもたらすことに焦点を当て、彫刻、コラージュ、公共空間を使った作品を制作している。米国での受賞歴もある出展作《レッドボール・プロジェクト》は、18年間に渡り世界中の32都市で行われた周遊型のパブリックアート・プロジェクトである。その他、ケイト・ウェア・カンパニーへのモダンダンスの舞台デザインなどを手掛けている。

FUROSHIKI TOKYO展



撮影：Takuji Shimmura

2018年秋、東京都はパリ市庁舎広場に大きな風呂敷包みを贈り、風呂敷の展示やインスタレーション、ワークショップを通して風呂敷の魅力を世界に発信しました。2019年六本木アートナイトでは、唐草模様の風呂敷パビリオンにて、パリで展示された各アーティストによるオリジナル風呂敷を日本初公開し、また風呂敷のインスタレーションを通じ風呂敷の魅力を発信する「FUROSHIKI PARIS」報告展を行います。

※アーティスト：北野武、草間彌生、コンスタンス・ギセ、ジャンポール・ゴルチエ、ニコラ・ピュフ、蜷川実花、細川護熙（ほか（五十音順/敬称略））

- ・日 時：5/25(土) 10:00～5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ 毛利庭園 ヒルサイド側（六本木ヒルズアリーナ横）
- ・参加料：無料

FUROSHIKI PARIS (パリ東京文化タンデム2018) :

昨年、東京都とパリ市の文化交流事業「パリ東京文化タンデム2018」の一環として、「FUROSHIKI PARIS」をパリで開催しました。アートディレクターに田根剛を迎え、パリ市庁舎前広場に唐草模様の風呂敷包みをイメージしたパビリオンを設置し、日仏のアーティスト等がデザインしたオリジナル風呂敷の展示や、風呂敷のインスタレーションを行いました。また、市庁舎壁面の歴史的人物の石像にふるしき包みを持たせるインスタレーションや、パリ日本文化会館における展示やワークショップなども行い、日本の伝統や芸術でもあり、また「世界で最初のエコバッグ」とされ環境の知恵でもある風呂敷の魅力を世界に発信しました。



撮影：Takuji Shimmura



撮影：Yoshiaki Tsutsui

< 田根 剛 (たね つよし) プロフィール >

建築家。1979年東京生まれ。Atelier Tsuyoshi Tane Architectsを設立、フランス・パリを拠点に活動。現在ヨーロッパと日本を中心に世界各地で多数のプロジェクトが進行している。主な作品に『エストニア国立博物館』（2016年）、『新国立競技場・古墳スタジアム(案)』（2012年）、『LIGHT is TIME』（2014年）、『Todoroki House in Valley』（2018年）、『(仮称)弘前市芸術文化施設』（2017年）など。フランス文化庁新進建築家賞、ミース・ファン・デル・ローエ欧州賞2017ノミネート、第67回芸術選奨文部科学大臣新人賞、アーキテクト・オブ・ザ・イヤー2019など多数受賞。2012年よりコロンビア大学GSAPPで教鞭をとる。



● チーウェイ・チョアン

《暗闇の中の虹》

観客参加型の屋外インスタレーションです。鑑賞者はガラスキューブの表面を覆う黒い塗料を削ることで、絵やメッセージを作品に書き残すことができます。夜になると、作品内部のLEDが明るい虹色の光を放ち、描かれたグラフィティが輝くように浮かび上がります。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ノースタワー前
- ・参加料：無料



©Hiroyasu shimo

● 志茂 浩和

《囚われる人》

六本木アートナイトの期間中、自動販売機で飲み物を購入するときには気を付けてください!! 機械に閉じ込められ、足掻き苦しむ人々のゾツとする姿が、突然あなたの前に立ち現れるでしょう。志茂浩和の《囚われる人》は、街なかにある自販機のあいだに、紛れ込むように配置されています。無機質な経済活動を象徴する自販機に拘束された人々のイメージは、現代社会における人間のあり方を反映しているのでしょうか。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ノースタワー前、ほか
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



● 田中 誠人

《フルムーン・エフェクト》

「見ること」を見るための装置です。鑑賞者は多角形のスクリーンで構成される球状の空間に入り込み、中心の装置に手を差し込みます。レンズと光源のシンプルな結像現象によって、自身を取り囲むよう複数の手の像が現れます。複眼的に投影される手の像は、自分以外の他者の視点のコレクションとも考えられます。同時に視覚の主導権が目から手に移譲され、見知らぬ手を動かしているかのような新たな身体感覚を帯びることになります。それは、赤ん坊が自身の手を見つめることで、自分を自分と認識する過程を彷彿とさせます。

※作品の特性上、日没後の時間帯にご覧いただくことをおすすめします。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ヒルサイド1F
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



● 大村 雪乃+松田 暁+堀 和紀

《唄う蜘蛛の巣》

毛糸で作られた、手編みのクモの巣のオブジェです。観客が触れるとクラシック音楽を奏でるようにプログラムされている、インタラクティブなサウンド・アート。触れる箇所によって、聞こえる楽器の音が変わるため、美しい合奏を聴くためには、より多くの鑑賞人が作品に接しなくてはなりません。オーケストラの合奏を奏でようと奮闘する姿は、クモの巣に捕まり、必死にもがく人のようにも見えます。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ウェストウオーク2F
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



● 福澤 貴之+諸星 智也+油井 俊哉

《エスカレーターミュージアム》

話題の展覧会や人気作品の鑑賞に滞留はつきもので、皆が平等にゆっくりと楽しむことは難しい現状にあります。エスカレーターミュージアムは鑑賞者が展示空間を公平に巡回することを目的とした新しい様式の美術館です。街なかにある自動移動装置であるエスカレーターと、その脇の空きスペースに着目し、既存の動力を利用して自動鑑賞できる新たな美術館をオープンします。初展示となる今回は坂道という環境を活かし、重力と戯れるリングの様々な姿を描きます。ご鑑賞の際は人混みにわずらわされることなく、ゆっくりとお楽しみください。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ メトロハット エスカレーター
- ・参加料：無料



● オレカTX

《巨人のオモチャの音楽会》

スペイン・バスク地方の伝統打楽器"チャラバルタ"を演奏するグループ「オレカTX」による、「巨人のオモチャ」をコンセプトにしたスペクタクルなステージです。2体の巨人が、オレカTX扮する"操り人形"を使ってチャラバルタを叩き、「起き上がり小法師」が揺れ動きながら角笛を奏で、「スノードーム」の中からは弦楽器の調べが響き渡ります。さらに、演奏に合わせてパフォーマーも登場し、スケール感溢れるファンタジーの世界を繰り広げます。

- ・日 時：①5/25(土) 18:30~19:00、②5/26(日) 17:30~18:00
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



● オレカTX

《バスクのパレード》

スペイン・バスクの伝統的なパレードの要素を取り入れたストリート・パフォーマンス。バスクの伝統打楽器"チャラバルタ"を演奏する「オレカTX」の賑やかな音楽と共に、伝統的な祭りに用いられる巨大な人形が登場し、お祭りを盛り上げます。幻の伝統打楽器と呼ばれる、非常に珍しい楽器チャラバルタの試奏体験もできます。一見ただの木の板にしか見えませんが、二人一組で対話をするように叩くことで、豊かな音楽を生み出します。是非この機会に体験してみてください。

- ・日 時：5/26(日) 14:30~15:00
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ周辺
- ・参加料：無料



撮影：bozzo

● tantan

《ほつれ。》

振付家兼ダンサー亀頭可奈恵主宰のダンスカンパニー。日本女子体育大学舞踊学専攻の同期と結成。「入り口から出口までが遊園地」という独特な世界観で、多様な活動を行なっています。代表作は「生きるために食う。」「傷としお。」「触らぬ神にたたりなし。」。

- ・日 時：①5/25(土) 22:30~22:50、②5/26(日) 0:30~0:50
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



撮影：bozzo

● 鈴木 ユキオ

《堆積 - Accumulations》

ノーベル文学賞受賞作家スベトラナ・アレクシエービッチの『チェルノブイリの祈り——未来の物語』をテキストに、淡々と踊り続けるダンサーが織りなす、静謐でゆがみ続ける空間。人間の無邪気さと愚かさ、そして命のたくましさと尊さが、積み重なる時間の中で、静かに浮かび上がります。「今」という時間の積み重なりは、人生になり未来に繋がっていきます。国内外でその実験的な試みや、特異な身体性・ダンスが注目を集めている振付家・鈴木ユキオが、「生きること」に真摯に向き合ったダンス作品。

- ・日 時：①5/25(土) 23:30~23:50、②5/26(日) 1:30~1:50
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



《白の訪問者》横浜高島屋

● VIKI

《Spin a Memories. 》

全国から集めた大量のレシートのキャンパスが登場。「記憶のリサイクル」をテーマに、アイロンやコデの熱を与えて絵を描くVIKI独自の画法「レシートアート」によるライブペイントを実施。捨てられるはずだったレシートで時代と人々を紡ぎ、新しい記憶として作品にします。絵が出来上がっていく様子を楽しんでもらうことと共に、私たちにとってレシートとは何だろうという消費社会への問いかけを喚起させます。

- ・日 時：5/25(土) 19:00~5/26(日) 5:00
※パフォーマンス時間内に途中休憩の時間があります
※パフォーマンス終了後も5/26(日) 18:00まで展示を行います
- ・場 所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



昼の木琴「輪唱のO」

● つちやあゆみ

《昼の音、夜の音》

ボールを転がすと音を奏でるこの楽器が響かせるのは、来場者がけん盤と音消し板をはめ替え、その場で作るメロディです。昼間は木琴の優しい音を、夜はガラス琴の澄んだ音を街に響かせます。メロディは簡単に組むことができ、自分だけのオリジナル曲を作ったりたくさんボールを転がして輪唱させたり、色んな楽しみ方ができます。ぜひ1曲、奏でにお越しください。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
※5/26(日) 15:00~16:30 六本木ヒルズアリーナでワークショップを行います
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ周辺
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



●セドリック・ル・ボルニュ

《欲望と脅威》

フランス在住のアーティスト、セドリック・ル・ボルニュは編み込まれたワイヤーを用いて、人間、鳥、海洋生物の立体作品を制作しています。屋根の上や空中高くに現れる作品は、強い光に照らされることで、ありふれた公共空間を詩的な情景に作り変えます。アートナイトに出現する3羽の鳥は、その儚い存在感を通して、夢のような都市景観を生み出すでしょう。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ 66プラザ、六本木ヒルズ 毛利庭園
- ・参加料：無料



《GO FLIGHT AIRSHIP》2012

● 林 剛人丸

《GO FLIGHT AIRSHIP》

林剛人丸は飛行をテーマにした作品を手掛けてきたアーティスト。本作は全長6メートルの飛行船です。気体が入るエンベロープには青空の画像が投影され、吹き抜け空間に浮かぶ飛行船が、心の中の感情を映し出す浮遊型のスクリーンになります。

- ・日 時：5/25(土) 11:00~5/26(日) 6:00、11:00~18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ けやき坂コンプレックスB1F
- ・参加料：無料



《untitled》2018
「水と土の芸術祭2018」(新潟)での展示風景

● 大西 康明

《Circulation》

大西康明は見えない空間の流れやスケールを可視化するかのような彫刻作品を制作してきました。六本木アートナイトのために制作される本作では、皺加工された透明なポリエチレンの膜が何枚も大きな空間に吊り下げられています。作品は鑑賞者の動きや空間を吹き抜ける風に反応し、揺れ動きながらさまざまな表情を見せてくれます。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F
- ・参加料：無料



《下 (アンダー)》2018
Courtesy the artist and Asakusa, Tokyo

● ジョシュア・オコン

《下 (アンダー)》

メキシコシティ在住のアーティスト、ジョシュア・オコンによる本作では緑豊かな自然や、そこで生きる動植物の様子を、高解像度なドキュメンタリーとして4Kモニター3台で映し出しています。タイトルである《下 (アンダー)》が隠された存在を暗に示すように、本作品の舞台となっているのは現在進行中の東京湾埋立地です。広大な森の下には1977年から東京都が排出した産業・家庭廃棄物が埋め立てられています。本作が映し出すのは近代化の負の遺産を覆い隠す美しい自然の姿です。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F
- ・参加料：無料



トロマラマ《ザー・ザー・ズー》2007年
所蔵：森美術館

● トロマラマ

《ザー・ザー・ズー》

インドネシアの3人組アーティスト・ユニット、トロマラマが、同国のインディーズバンド RNRMのために、膨大な数のボタンとビーズをコマ撮りして制作したアニメーション・ミュージックビデオです。日用品を使った色鮮やかで軽快な映像は、私たちに小さな驚きをもたらします。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F
- ・参加料：無料

● トロマラマ

《戦いの狼》

インドネシアの3人組アーティスト・ユニット、トロマラマが同国の人気ロックバンド、セリングイのために、400枚以上の木版画をコマ撮りして制作したアニメーション・ミュージックビデオです。木版画という古典的な手法と現代インドネシアのサウンドの融合が斬新です。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F
- ・参加料：無料



トロマラマ《戦いの狼》2006年
所蔵：森美術館、東京



さわひらき《エアライナー》2003年
所蔵：森美術館

● さわひらき
《エアライナー》

ページをめくると飛行機が飛ぶ姿が映し出されるアニメーション作品。ノートの端に絵を書いて遊ぶパラパラ漫画を想起させます。本作は、簡潔さによりコマの集積という動画の本質的な構造を私たちに意識させつつ、どこか夢のようでもあり浮遊感に満ちたさわ独自の世界観が感じられます。

- ・日 時：5/25(土) 10:00～5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F
- ・参加料：無料



● 西原 尚
《おひまち》

66ブラザに突如樹立された竹の楽器《おひまち》は、電動式の鞆（ふいご）によって和音を鳴らします。本作はさまざまな民族楽器をモチーフに作品を制作してきたアーティスト、西原尚によるものです。タイトルは田植えや稲刈りが終わった後に、日の出を待ちながら宴を行う日本各地の祭り「御日待（おひまち）」に由来しています。

- ・日 時：5/25(土) 10:00～5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ 66ブラザほか（予定）
- ・参加料：無料



● 高山 明
《マクドナルド放送大学》

高山明は、劇場を使った演劇の枠組みから、現実の都市空間を劇場と捉えることで演劇の概念を拡張してきた演劇ディレクター／アーティストです。ドイツ、フランクフルトで初演された本作は、ヨーロッパ各地にあるマクドナルドが移民の避難場所のような場所として機能していることに着想を得て制作されました。世界各地から移民や難民として逃れてきた人々が本プロジェクトの教授となり、マクドナルドに訪れた観客にラジオを通じて彼らの専門分野についての講義を行います。

- ・日 時：5/25(土) 20:00～5/26(日) 10:00
- ・場 所：マクドナルド 六本木ヒルズ店



展示風景：ホルルビエンナーレ2017

● アンドリュー・ピンクリー
《ストーン・クラウド》

ハワイ在住のアンドリュー・ピンクリーは、中国各地を巡ったのち、数年間タイで僧侶として修行をした経験をもとに、太平洋諸島の自然と仏教思想を融合した作品を制作しています。《ストーン・クラウド》は、岩肌の写真が印刷され、雲のように浮かぶ彫刻作品で、固体性と流動性、軽さと重さなど、相反する様々な性質が共存しています。日常の世界観から逸脱する、その驚くべき存在は、超越的な感覚を呼び起こしてくれるかもしれません。

- ・日 時：5/25(土) 10:00～5/26(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ メトロハット（予定）
- ・参加料：無料



撮影：Mao Yamamoto

● 和田 永 + Nicos Orchest-Lab
《エレクトロニクス・ファンタスティコス！》

ブラウン管テレビ、バーコードリーダーなどの電化製品を“電磁民族楽器”へと転生させ、アンサンブルを繰り広げます。ブラウン管の静電気やレーザーのスキャンを通して「模様が音になる」という電気的な仕組みを応用した新作パフォーマンスを披露します。

- ・日 時：5/25(土) 19:40～20:00
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



撮影：Florian Voggeneder

● 和田 永 + Nicos Orchest-Lab
《バーコード》

バーコードリーダーが読み取った信号を直接音声端子に接続することで音を鳴らす楽器「バーコード」の体験展示。バーコードのシマシマがそのまま音の波になる。昼はバイトでレジ係、夜はクラブでバーコードDJ。レジ係の次のレベルを体験せよ！

- ・日 時：5/25(土) 20:10～5/26(日) 5:30、12:00～17:30
上記時間内で随時開催
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



撮影：HARU

● 近藤 良平とその仲間たち

《六本木夜舞場 Vol.7 (真夜中の盆踊り)》

今年も深夜に突如踊り舞台が出現します。コンドルズを主宰する振付家・ダンサーの近藤良平を音頭取りに、熱く静かに真夜中の盆踊り。踊らにゃ損損！

- ・日 時：5/26(日) 3:00～3:20
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



撮影：加藤甫

● 日本フィルハーモニー交響楽団×インビジブル

《クラシックなラジオ体操》

毎年大好評の「クラシックなラジオ体操」が今年も開催！朝を迎えるにふさわしいクラシック音楽と、新たな気持ちで一日をスタートさせるためのラジオ体操の音楽を、日本フィルハーモニー交響楽団が生演奏。素晴らしいクラシック音楽と共に朝を迎え、そしてラジオ体操で身体を動かし、身も心も健やかな朝を迎えましょう！

- ・日 時：5/26(日) 5:30～6:00
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



● 六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー オールナイト開館

六本木ヒルズ森タワー52階「東京シティビュー」の屋内展望台（海拔250m）はオールナイト開館します。普段は見るできない夜更けからサンライズまでの幻想的な朝焼けや東京の街の表情の変化をお楽しみ下さい。

- ・開館時間：平日・休日 10:00～23:00（最終入場は1時間前）
 - ※金・土・休前日は25:00まで開館（最終入場24:00）
 - ※「六本木アートナイト 2019」開催に伴い、5/25(土) 10:00～翌6:00まで開館延長
- ・場 所：六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー（六本木ヒルズ森タワー52F）
- ・入館料：一般 1,800円、学生（高校・大学生）1,200円、子供（4歳～中学生）600円、シニア（65歳以上）1,500円



《混ざりゆく》
2018年

● 和田山 真央

《Forgiveness》

今、自分自身がこの世の中において感じるもの。使うという感覚を楽しんでいただける器、時代の狭間のような感覚を表現したオブジェと器を展示します。

- ・開催期間：開催中～6/16(日)
- ・開館時間：12:00～20:00
 - ※「六本木アートナイト 2019」開催に伴い、5/25(土) は21:00まで営業延長
- ・場 所：ROPPONGI HILLS A/D GALLERY（六本木ヒルズ森タワー3F）
- ・入館料：無料



● 「PIXARのひみつ展 いのちを生みだすサイエンス」

「The Science Behind PIXAR」と題して2015年にボストンサイエンスミュージアムで初開催され、その後アメリカおよびカナダで150万人以上（合計8箇所）を動員した展覧会です。実際のアニメーション制作のカギとなる8つの工程を通してPIXARアニメーションを支える科学について学べるハンズオン展示です。PIXARアニメーションの人気キャラクターを通して専門的な知識や技術を体験することができます。

- ・開催期間：開催中～9/16(月・祝)
- ・開館時間：10:00～22:00（最終入場は21:30）
 - ※「六本木アートナイト 2019」開催に伴い、5/25(土) は翌6:00まで開館延長
- ・場 所：六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー（六本木ヒルズ森タワー52F）
- ・入館料：一般 1,800円、学生（高校・大学生）1,200円、子供（4歳～中学生）600円、シニア（65歳以上）1,500円

©Disney/Pixar

2009年にスタートし、今回で10回目をむかえる六本木アートナイト。今年のアートナイトカフェは、各回を代表するプログラムや名シーンを振り返る「六本木アートナイトヒストリー展」、そして昨年好評だったアール・ブリュット展の2019年バージョン「表現する歓び」が開催されます。さらに、2017年に好評を博したナウイン・ラワンチャイクンによる《OKのまつり》を再現する「OKのまつり2019」など、バラエティに富んだイベントが多数展開されます。街歩きの前のお見どころ探し、街歩きにつかれたときの休憩や食事など存分にご活用ください。

・日 時：5/25(土) 11:00～5/26(日) 5:00、11:00～18:00



● 《「表現する歓び」アール・ブリュットの先駆者達 Paleo~Neo》

誰のためでもなく、純粹に自分が生きるために制作する作家達。日本でまだアール・ブリュット、アウトサイダーアートということばが使われ始める何十年も前に、東京でも「八幡学園」などの児童保護施設や、「東京足立病院」「平川病院」といった一部の精神病院では創作活動が行われていました。周囲の理解と愛情によって、作家達の作品は変わっていきます。今は亡き作家達と、今を生きる作家達の「表現する歓び」に心を寄せ、時空を超えた語り合いをしていただけましたら幸いです。

・日 時：5/25(土) 11:00～5/26(日) 5:00、11:00～18:00

・場 所：六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース

・入場料：無料



● 《六本木アートナイトヒストリー展》

2009年3月28日(土)、ヤノベケンジの巨大人形《ジャイアント・トラヤン》が大観衆の前で火を噴き度肝を抜くことから六本木アートナイトの歴史は始まった。以来、草間彌生、日比野克彦、名和晃平、蛭川実花など錚々たるアーティストで彩られたヒストリー、そして今年のお見どころ集をお見逃しなく。

・日 時：5/25(土) 11:00～5/26(日) 5:00、11:00～18:00

・場 所：六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース

・入場料：無料



ナウイン・ラワンチャイクン《OKのまつり(六本木物語)》2017 所蔵：森美術館

● ナウイン・ラワンチャイクン

《OKのまつり2019》

2017年に六本木西公園で開催され人気を博したナウイン・ラワンチャイクンによる《OKのまつり》が、2019年の六本木アートナイトに帰ってきます。今回は映像作品「六本木物語」の上映会や、トークイベントを開催。トークイベントでは「六本木物語」に託された未来へのメッセージについて、アーティストが映像に出演した地元の方々と語り合います。その他にもOKサルサのダンスパーティーなど、盛り沢山の内容です。

・日 時：①5/25(土) 19:30～21:00、②5/26(日) 12:00～13:30

・場 所：六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース

・参加料：無料



撮影：田山達之

● 六本木ヒルズ・森美術館 まちと美術館のプログラム

《つむぐプロジェクト(仮称)》

人と人、人と街、人とアートを紡ぐ。このプロジェクトは六本木にゆかりのある人々と一緒に作り上げる、参加型アートプロジェクトです。さまざまな背景の人々が集まるこの街で、アートを通じて六本木の未来をテーマにした対話を進めてきました。六本木アートナイトでは、一般の方にも参加していただきながら、この街の未来を多くの人たちと考えます。今回はアーティストの西原尚を迎え、音を軸にしたパフォーマンスを通して参加者同士の交流を深めます。

・日 時：①5/25(土) 21:00～22:00、②5/26(日) 13:30～14:30

・場 所：六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース

・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム

● psychē collective

《/psychē / -ブシューケー-》

2人のダンサーが呼吸と運動して膨らむ衣服を身にまとい、六本木の街を練り歩くパフォーマンス作品です。ダンサーの呼吸や街の空気による衣服のゆらぎから、人と街との境界線を描きます。

・日 時：5/25(土) ①22:30、5/26(日) ②0:00、③2:00、④15:00

・場 所：六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース、六本木ヒルズ ウェストウォーク2F、66プラザなど

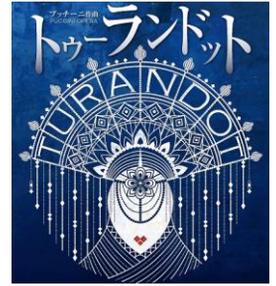
・参加料：無料 ※詳細は公式サイトでお知らせします



同時開催プログラム

● 東京文化会館「オペラ夏の祭典2019-20プレイベント」《ペラペラオペラ in 六本木》
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に合わせ、東京都と東京文化会館が新国立劇場と2年に渡り展開する国際的なオペラプロジェクト「オペラ夏の祭典2019-20 Japan⇔Tokyo⇔World」。7月に開催が迫ったオペラ『トゥーランドット』よりフィギュアスケートでも有名な「誰も寝てはならぬ」等の名曲をエレクトーン伴奏でお届けします。クラシックソムリエ朝岡聡による軽妙なトークで、アートナイトのお客様をオペラの世界へいざないます。

- ・日 時：5/26(日) 13:00～13:30
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・出演者：中江 早希（ソプラノ）、与儀 巧（テノール）、清水 のりこ（エレクトーン）、朝岡 聡（司会）
- ・参加料：無料 ※演奏中のフラッシュ撮影はNG（動画は常にNG）
- ・主 催：東京都、東京文化会館（公益財団法人東京都歴史文化財団）



● 《リー・ミンウェイ：ザ・ツーリスト》

リー・ミンウェイは参加型インスタレーションを制作し、作品を通して見知らぬ人同士の交流や贈り物の交換の意味を考えさせます。《ザ・ツーリスト》では、ホストたちがアーティストに旅の案内をすることで、さまざまな街の秘密を明らかにします。またアートナイト期間中には、ミンウェイに東京を案内する新たなホストを決める抽選が行われます。

- ・日 時：5/25(土) 11:00～22:00
- ・場 所：ペロタン東京
- ・参加料：無料



Lee Mingwei, The Tourist, 2003, The Museum of Modern Art, New York. Photo: Anita Kan. © Courtesy of the artist & Perrotin

● 《サラ・マイヤスコウ・ギャラリー展》

ファインアートや工芸、デザイン、建築の境界を自由に越えるアーティスト、クリエイター達の作品（写真・陶磁器など）を扱っているサラ・マイヤスコウ・ギャラリーの日本で初めてのエキシビション。

- ・開催期間：5/25(土)～6/20(木)
- ・開催時間：11:00～21:00
※「六本木アートナイト 2019」開催に伴い、5/25(土)は23:00まで営業延長
- ・場 所：g GIFT AND LIFESTYLE（六本木ヒルズヒルサイドB1F）
- ・参加料：無料



Photo courtesy of Maisie Broadhead and Sarah Myerscough Gallery

森美術館



飯川雄大《デコレータークラブーピンクの猫の小林さんー》2019年
展示風景：「六本木クロッシング2019展」
森美術館
撮影：木奥恵三

● 「六本木クロッシング2019展：つないでみる」

「六本木クロッシング」は森美術館が3年に一度、日本の現代アートシーンを総覧する定点観測的な展覧会として2004年以来開催してきたシリーズ展です。第6回目の開催となる本展は、1970-80年代生まれを中心とした日本のアーティスト25組を紹介し、現代美術からファッション、AI、人工生命まで、今日の表現を通して見える「つながり」に注目します。

- ・開催期間：開催中～5/26(日)
- ・開館時間：10:00～22:00（最終入館 21:30）
※火曜日のみ17:00まで（最終入館 16:30）
※「六本木アートナイト 2019」開催に伴い、5/25(土)は翌6:00まで
- ・会 場：森美術館（六本木ヒルズ森タワー53F）
- ・入館料：一般 1,800円、学生（高校・大学生）1,200円、子供（4歳～中学生）600円、シニア（65歳以上）1,500円

期間中の展覧会



米谷 健+ジュリア《生きものの記録》2012年
展示風景：「MAMコレクション009：米谷 健+ジュリア」
森美術館2019年
撮影：木奥恵三

● MAMコレクション009：米谷 健+ジュリア

米谷健+ジュリアによる緑色に光る巨大なアリの形の立体作品を紹介。

● MAMスクリーン010：ミハイル・カリキス

労働や雇用、コミュニティの意味を考えさせるミハイル・カリキスの映像3作を上映。

● MAMプロジェクト026：カーティス・タム

梵鐘の胎内に見立てた空間で「ディープ・リスニング」を体験できるのサウンド・インスタレーションを紹介。

- ・開催期間：開催中～5/26(日)
※「六本木アートナイト 2019」開催に伴い、5/25(土)は翌6:00まで開館延長
※10:00～22:00（最終入館 21:30）※火曜日のみ17:00まで（最終入館 16:30）
- ・会 場：森美術館（六本木ヒルズ森タワー53F）
- ・入館料：「六本木クロッシング2019展：つないでみる」チケットで観賞可



Mitsuru Takeuchi

● 武内 満
《リップル》

アーティスト/プログラマー/エンジニアである武内満は、光を媒体としたプロジェクトを多く手掛け、これまでイルミネーション・イベントや音楽のライブコンサートなどで作品を発表してきました。《リップル》では、レーザー光線を透明なオブジェクトに当てることで柔らかい光に変容させ、ゆったりと揺らめく波紋のように演出します。光の模様が万華鏡のように広がる空間を東京ミッドタウンのプラザエリアで展開します。

- ・日 時：5/25(土) 19:00~5/26(日) 5:00
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザ1F
- ・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



● オレカTX
《バスクのパレード》

※内容は本リリースのP.5参照

- ・日 時：5/26(日) 13:00~13:30
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザ1F キャノピー・スクエア
- ・参加料：無料

● 監督：バンクシー
《アートシネマ》

芝生広場が野外映画館に変身。上映作品は、話題のアーティスト バンクシー による初監督作品『イグジット・スルー・ザ・ギフトショップ』。

映画説明：ビデオ撮影が趣味の男ティエリー・グエッタが様々なグラフィティ・アーティストと出会い、彼らの素顔を撮影するうちに念願だった伝説のバンクシーとの接触が叶う。本人はアートの知識も技術もないティエリーはやがて、バンクシーによってアーティスト"ミスター・ブレインウォッシュ"に仕立て上げられ、ついには個展を開くことに。全ては仕組まれたことなのか、あるいはリアルなドキュメンタリーなのか。

- ・日 時：5/25(土) 19:00~20:30
- ・場 所：東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン 芝生広場
- ・参加料：無料
- ※定員700名(定員に達した場合、入場制限をする可能性があります)
- ※雨天決行、荒天中止
- ・企画・協力：ねぶくろシネマ



©2010 Paranoid Pictures Film Company All Rights Reserved.

● スプツニ子! + 西澤 知美
《東京減点女子医大》

2018年8月、大学医学部の一般入試で、女子受験者の得点を一律に減点し合格者数を抑えていたことが発覚し、大きなニュースになりました。この日本の女性差別の問題を背景に、“東京減点女子医大 - Tokyo Medical University for Rejected Women”という架空の大学を設立し、その学校の様子を作品として展示します。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 5:00、10:00~18:00
パフォーマンス 5/25(土) 21:30~23:00
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F
- ・参加料：無料

六本木未来会議アイデア実現プロジェクト#19



東京減点女子医大 2019年

● 牧野 永美子
《灯に集まる夜遊びコウモリやろども》

陽が落ちて夜、街にはたくさんの明かりが灯り、私たちはまるで夜行性の動物のように元気にはしゃぎ倒します。時間的棲み分けを失くしたこの街では昼も夜も私たちのもの。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザ1F
- ・参加料：無料



● enra
《Hora》

映像とライブパフォーマンスの融合を極めたパフォーマンスカンパニー、enra。スクリーンに映し出される映像と、ダンスやアクションなどの身体表現がシンクロすることによる、今までにない自由な表現がenraの最大の魅力です。ハイレベルな身体表現に映像が加わることにより、観客のイマジネーションを空間、重力や速度など物理的な制約から解放します。

- ・日 時：5/25(土) 22:30~23:00(予定)
- ・場 所：東京ミッドタウン ガレリアB1F アトリウム
- ・参加料：無料



● 青沼 優介

Street Art Performances 《意図をほぐす ワークショップ》

デザインされたものとその意図の関係を問う作品《意図をほぐす》の制作過程を体感するワークショップを行います。あるかたちを伝言ゲームのようにたくさんの人で写し描き続け、かたちという糸をスルスルとほぐしていく。そこに生み出されるかたちを造形してみる。意図から離れ、自然的な物体へと変貌していく過程、手法を体感します。

- ・日 時：5/25(土) 19:30~5/26(日) 4:30
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー
- ・参加料：無料 ※材料が無くなり次第終了



● 高瑞

Street Art Performances 《"Stand Up!" パフォーマンス》

一般的に流通している座った犬の置物たちを組み立て直し立ち上がらせる作品《"Stand Up!"》などで、自由そのものや、命のきらめきを表現する作者。その背景には、実社会に対して大自然というものが常にイメージされてきました。自身が着ぐるみをまとい、気持ちのおもむくままに行動するパフォーマンスを通して、夢の世界への渴望を表現します。

- ・日 時：5/25(土) 19:30~5/26(日) 4:30
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー
- ・参加料：無料



● 田中 優菜

Street Art Performances 《出る杭だって生きている ワークショップ》

展示中の作品《出る杭だって生きている》に、紙に書いた「自分の頑張っていること・目標」を飾るワークショップです。「出る杭は打たれる」ということわざがあるように、夢や目標を持って頑張れば頑張るほど、私たちは時に「出る杭」となり世間から叩かれます。しかし、叩かれてもなお前を向く意志を、私たちは持つて生きているはず。モグラ叩きをモチーフに、叩かれても負けずに生きる全ての人の姿を表現します。

- ・日 時：5/25(土) 19:30~5/26(日) 4:30
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー
- ・参加料：無料 ※材料が無くなり次第終了



● 泉 里歩

Street Art Performances 《意味のある偶然の一致 公開制作》

「人を感動させることができるのは人だ」と考える作者が、展示中の作品《意味のある偶然の一致》へさらに手を加える制作パフォーマンスを行います。見ず知らずの人が集まるこの場所は、自分にとってどんな意味があるのか、そしてそれはただの偶然の集まりなのか問いかけます。

- ・日 時：5/25(土) 19:30~5/26(日) 4:30
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー
- ・参加料：無料



● YU SORA

Street Art Performances 《私たちの住んでいる家》

日常を見つめなおす作品《普通の日》を展示中の作者によるワークショップを行います。参加者が自らの日常生活の場所を振り返り、住んでいる部屋の間取り図をそれぞれに描きます。広さを間違えたり、描き忘れるスペースがあるかもしれません。普段の生活の中で見ているからこそ、分からなくなってしまうこともある。じっくり考えて描いたり、家族で話し合いながら描いたり、いつもの生活している場所の見方が変わるでしょう。そして、知らない誰かの部屋を覗き、どんな人が想像したり、共感したり、似ている人を探したりしてみましょ。

- ・日 時：5/25(土) 19:30~5/26(日) 4:30
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー
- ・参加料：無料 ※材料が無くなり次第終了



● 下村 奈那

Street Art Performances 《遡上 公開制作》

「かく」行為についての再考から制作した展示中の作品《遡上》。作者による公開制作によりさらに展示作品に筆を加え、「かく」を考えた行為・軌跡を共有します。本作品は「かく」という行為を遡上し、その根源を探るあてのない軌跡です。「かく」行為を取りまくさまざまな精神や事象を踏まえ、現代の生活における「かく」ことの記憶や感情を表象します。

- ・日 時：5/25(土) 19:30~5/26(日) 4:30
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー
- ・参加料：無料



● 青沼 優介、高瑞、田中 優菜、泉 里歩、YU SORA、下村 奈那

《ストリートミュージアム》

明日を担うデザイナーやアーティストの発掘・応援・コラボレーションを目指すコンペティション「TOKYO MIDTOWN AWARD」。2018年度のアートコンペ受賞作家6名が集結し、インスタレーション・彫刻などの最新作を発表します。今注目の若手作家の才能と個性あふれる作品をぜひお楽しみください。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 5:00、10:00~18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F メトロアベニュー
- ・参加料：無料



● 石山 和広

《絵画からはなれて [磊] (らい)》

東京ミッドタウンの20番目となるパブリックアート「絵画からはなれて[磊]」が登場。照明にもこだわった新しいパブリックアートをぜひ鑑賞ください。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~22:00、5/26(日) 10:00~18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン ミッドタウン・タワーB1F
- ・参加料：無料



イメージ

● 石山 和広、増田 信吾

《絵画からはなれて [磊] (らい) トーク》

「絵画からはなれて[磊]」の新設を記念して、作家の石山和広によるアーティストトークを開催。今回はゲストに建築家の増田信吾を迎え、青野尚子をモデレーターに対談形式のトークイベントを開催します。

- ・日 時：5/25(土) 21:30~22:30
- ・場 所：東京ミッドタウン ミッドタウン・タワーB1F
- ・参加料：無料 ※混雑時には入場制限を行う場合があります



©ytki

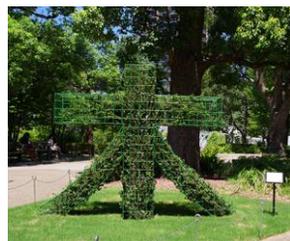
● 川村 真司

《六本のアートの木#1「木の木」》

ウェブマガジン六本木未来会議 (6mirai.tokyo-midtown.com) による六本木に6本のアートの木を植える「六本のアートの木」プロジェクト。1本目の木はクリエイター川村真司さん考案の「木の木」です。木という文字を体で表現して一緒に写真を撮ってみよう。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~21:00、5/26(日) 10:00~18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン
- ・参加料：無料

六本木未来会議アイデア実現プロジェクト#17



©六本木未来会議

● WOW

《motion texture 02》

2006年にスタートしたプロジェクトの最新作品。デジタル情報がますますリアリティ (= 存在感) を増しつつある中、“存在する映像”をコンセプトに非物質である映像作品と住空間などの融合を試みる作品です。motiointexture.com/

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 4:30、10:00~18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1F
- ・参加料：無料



Undulation | Kouhei Nakama, 2018

・協 力：パナソニック株式会社アプライアンス社 Game Changer Catapult

● 中村 悠一郎 / 武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ

《ガチャむらや II》

マスターから出題される「問い」に答えないと回せないガチャガチャ「ガチャむらやII」。世界とは、人類とは、社会とは…? 果てしないスケールの問いの前で、あなたの本当の考える力が試されることでしょうか。固定概念を取りはらい、マスターとの対話を通じて「答え」を導き出してください。果たしてあなたは景品をゲットすることができるのか?

- ・日 時：5/25(土) 19:30~23:00、5/26(日) 11:00~14:00、15:00~18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン 外苑東通り沿い ガレリアゲート前
- ・参加料：無料



● 《nendo×Suntory Museum of Art

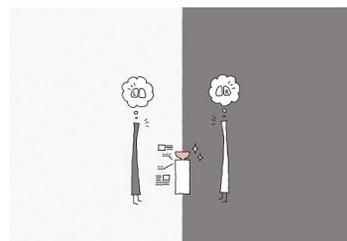
information or inspiration? 左脳と右脳でたのしむ日本の美》

人は美しいものに出会ったとき、2種類の感動のしかたをすると仮定。作品の背景や制作過程、作者の意図や想いを知ることで生まれる感動、そしてもうひとつは、ただただ理由もなく、心が揺さぶられる感動です。本展は、佐藤オオキ率いるデザインオフィスnendoが提案する、左脳的なアプローチ、右脳的な感じ方の双方で、日本の美術をたのしんでみる展覧会です。つまり、1つの展覧会のように、2度たのしめる展覧会なのです。

さて、あなたは理論派？それとも直感派？

- ・開催期間：4/27(土)～6/2(日)
- ・開館時間：10:00～18:00 (金・土曜日は10:00～20:00)
※「六本木アートナイト2019」開催に伴い、5/25(土)は24:00まで開館延長
※いずれも入館は閉館の30分前まで
- ・会場：サントリー美術館 (東京ミッドタウン ガレリア3F)
- ・入館料：一般 1,300円、大学・高校生 1,000円、中学生以下無料

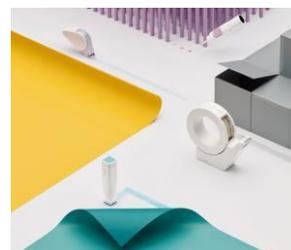
期間中の展覧会



● 《デザインオフィスnendoデザイン『GLOO』を使って工作体験！》

接着・粘着用品「GLOO」は、デザインオフィスnendoがデザインした、「貼る」を創造的な行為に変えるアイテム。のりやテープを使った簡単な工作で、その使い心地を体験できるプログラムです。

- ・日時：5/25(土) 18:00～23:00
- ・場所：サントリー美術館 1Fレクチャールーム
- ・参加料：無料 ※混雑時には入場制限を行う場合があります
- ・協力：コクヨ株式会社



21_21 DESIGN SIGHT

期間中の展覧会



● 《ユーモアてん。／SENSE OF HUMOR》

グラフィックデザインを通して長年人々を楽しませ続けてきた浅葉克己がディレクションを手がける本展は、その活動のインスピレーションのもととなっている国内外から集められた様々な資料やオブジェクトとともに、浅葉がシンパシーを感じているデザイナーやアーティストの作品を一堂に集めます。時代や国を超えたユーモアのかたちと表現を一望することで、私たちは日々の営みの中にある身近なユーモアを見つめ直すことになるでしょう。

- ・開催期間：開催中～6/30(日)
- ・開催時間：10:00～19:00
※「六本木アートナイト2019」開催に伴い、5/25(土)は23:30まで開館延長
※いずれも入館は閉館の30分前まで
- ・会場：21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー1&2
- ・入館料：一般 1,100円、大学生 800円、高校生 500円、中学生以下無料

● 野沢 雅子、羽佐間 道夫、大野 裕之

《特別公演『キートンの探偵学入門』声優口演

／トークショー「キートンとチャップリン 希代のライバルとその友情」》

20世紀前半、「世界の三大喜劇王」の一人とされたバスター・キートン。真骨頂ともいえるスラップスティック・コメディの傑作「キートンの探偵学入門 (SHERLOCK JR., 1924)」を、日本を代表する二人の声優による日本語ライブ上演で鑑賞する特別公演です。また、チャップリンの代表作「ライムライト (LIMELIGHT, 1952)」のキートン出演シーンの一部も特別に上演いたします。トークと合わせてお楽しみください。

- ・日時：5/25(土) ①18:00～19:30、②21:00～22:30
- ・場所：21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー3
- ・参加料：4,000円 (「ユーモアてん。」招待券付き)
※撮影不可 ※各回40名 (要事前予約)
- ・主催：株式会社ムーブマン、21_21 DESIGN SIGHT
- ・協力：日本チャップリン協会



©film preservation associates

期間中の展覧会

● 企画展《ウィーン・モダン クリムト、シーレ 世紀末への道》

19世紀末から20世紀初頭にかけて、ウィーンでは、絵画や建築、工芸、デザイン、ファッションなど、領域を超えて、新しい芸術を求める動きが盛んになり、煌びやかなウィーン独自の文化が開花しました。この時代、画家クリムトやシーレ、建築家ヴァーグナー、コースらが登場し、モダン・アート、モダン・デザインの黄金期を迎えます。本展は、ウィーンの世紀末文化を「近代化（モダニズム）への過程」という視点から紐解く新しい試みの展覧会です。18世紀の啓蒙思想から、そのプロセスを辿る本展は、ウィーンの豊かな文化を知る展覧会の決定版と言えます。

- ・開催期間：開催中～8/5(月)
- ・開催時間：5/25(土) 10:00～22:00、5/26(日) 10:00～18:00
- ・会場：国立新美術館 企画展示室1E
- ・観覧料：一般 1,600円、大学生 1,200円、高校生 800円
※撮影は原則不可、但し一部フォトスポット有



グスタフ・クリムト《エミーリエ・フレデーの肖像》1902年
油彩/カンヴァス 178 x 80 cm
ウィーン・ミュージアム蔵
©Wien Museum / Foto Peter Kainz

● 《「クリスチャン・ボルタンスキーの可能な人生」上映》

2010年に制作された「クリスチャン・ボルタンスキーの可能な人生」（上映時間52分）は、ボルタンスキーの多様な活動を紹介するドキュメンタリーフィルムです。映画の中では、6月12日より開催される「クリスチャン・ボルタンスキー-Lifetime」展に出品される作品はもちろんのこと、ボルタンスキーがこれまで手掛けてきたその場限りのインスタレーションも目にする事ができます。

- ・日時：5/25(土) 18:00～22:00
- ・場所：国立新美術館 アトリウム
- ・観覧料：無料 ※撮影不可



クリスチャン・ボルタンスキー © Christian Boltanski / ADAGP, Paris, 2019, Photo by Didier Plowry

● 《建築ツアー2019：歩く・見る・知る美術館》

「六本木アートナイト2019」特別プログラムとして、国立新美術館の建物内を巡りながら、建築の特徴や美術館の活動について紹介するツアーを開催します。日本設計社員による解説とともに、黒川紀章・日本設計共同体が設計した美術館のダイナミックな空間をお楽しみください。

- ・日時：5/25(土) ①16:00～17:30、②19:30～21:00
- ・場所：国立新美術館 館内各所
- ・参加料：無料（事前申し込み制）
※各回30名 ※参加者にはオリジナル缶バッジをプレゼント
※ツアー中は一部撮影不可
- ・協力：株式会社 日本設計



● 《TOKYO_ANIMA! 2019》

若手アニメーション作家の新作・近作を一挙上映します。日本の短編アニメーション「ショーケース」。YouTubeでは味わえない感動をぜひご鑑賞ください。

- ・日時：5/25(土)、5/26(日)
- ・場所：国立新美術館 3F 講堂
- ・参加料：無料 ※入場整理券配布予定



● 公募展《第115回記念 太平洋展》

主催：一般社団法人 太平洋美術会

作品ジャンル：洋画、版画、彫刻、染織

- ・開催日時：5/25(土) 10:00～22:00、5/26(日) 10:00～18:00
- ・場所：国立新美術館 展示室1A-1D
- ・観覧料：一般・大学生 700円、高校生以下無料

同時開催プログラム

● 公募展《71回 三軌展》

主催：三軌会

作品ジャンル：絵画、彫刻、工芸、写真

- ・開催日時：5/25(土) 10:00～22:00、5/26(日) 10:00～18:00
- ・場所：国立新美術館 展示室2A-2D
- ・観覧料：一般 700円、大学生以下無料 ※5/25(土)は15時以降観覧無料

同時開催プログラム

● 公募展《第41回 日本新工芸展》

主催：公益社団法人 日本新工芸家連盟

作品ジャンル：工芸

- ・開催日時：5/25(土)、5/26(日) 10:00～18:00
- ・場所：国立新美術館 展示室3A・3B
- ・観覧料：一般 700円、大学生・高校生・65歳以上 400円、中学生以下無料
※5/25(土)は観覧無料

同時開催プログラム



● 野村 律子
《記憶のトレース》

ビデオインスタレーション（夜間）／ 観客参加型インスタレーション（昼間）作品。日中に、観客には願いの書かれた紙を神社に設置された結び所におみくじのように結んでもらいます。その様子は常にタイムラプス撮影されており、夜になるとその映像が同じ場所にプロジェクトされ、昼間の観客は夜の作品の一部となります。昼間に参加者によって結ばれた無数の紙に、それらを結んだ参加者の姿が重なって映り、日常に残された物の記憶の痕跡をたどってみせるインスタレーション作品です。

- ・ 日 時：参加型インスタレーション&タイムラプス撮影：5/25(土) 10:00~17:00
ビデオインスタレーション展示：5/25(土) 18:00~5/26(日) 5:00
※インスタレーション終了後も、5/26(日) 18:00まで前夜の記録映像を展示します。
- ・ 場 所：天祖神社
- ・ 参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



《KYO-ZO》2016年

● 津田 翔平
《KYO-ZO》

かつてレストランとして使われていた空間が舞台です。真っ暗な部屋に、設置された装置から無数の赤いレーザー光線と音像が垂直・水平に放射され、かつて存在したであろう日常の残像をスキャンするように、壁面や残された家具の表面をゆっくりと移動していきます。このインスタレーションは、過去の実体を探求することで、現在の建築空間を変容させる実験的行為です。

- ・ 日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・ 場 所：第一レーヌビル1F
- ・ 参加料：無料



撮影：Yuriko Katori
©Nobutaka Aozaki

● 青崎 伸孝

《スマイリー・バッグ・ポートレート》

ニューヨークを拠点とする青崎は、街で見つけたモノや見知らぬ人々とのなにげない交流を通じて、ユーモラスなパフォーマンスを発表しています。〈スマイリー・バッグ・ポートレート〉では、アメリカの食料品店で広く利用されているスマイリーフェイスのレジ袋に、通行人の似顔絵を描きます。参加者はその場でモデルとなり、完成した似顔絵を持ち帰ることができます。また会場では、六本木商店街やアートナイトスタッフ、ニューヨークの知人の似顔絵を描いたレジ袋を使ったインスタレーションを常時展示します。

- ・ 日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
※パフォーマンス日時の詳細は公式サイトでお知らせします。
- ・ 場 所：ラピロス六本木
- ・ 参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム

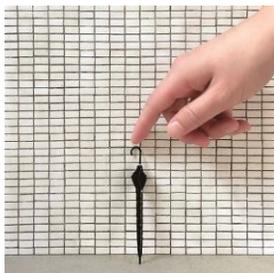


撮影：野口浩史

● 角 文平
《スリープ》

グローブ・ジャングル、三輪車、砂の城をモチーフとした、屋外インスタレーション。各オブジェからのびる無数の白いバルーンは、無機質な遊具が静かに呼吸をするように膨張収縮し、それと同調して、光もゆったりとしたリズムで明滅を繰り返します。どこからかわずかに聞こえるピアノの曲と、昼間の公園の音は、子供たちの存在と生命感を象徴し、少子化問題や子供の遊びの変化によって変わりゆく公園の姿を暗示しています。

- ・ 日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・ 場 所：六本木西公園（予定）
- ・ 参加料：無料



● 上坂 直

《所在譚 hidden in "Cells of the City"》

六本木の街角に、様々な物語が秘められたミニチュアの世界が突如現れます。公共空間の壁を覆う、無機質な壁のタイルをモチーフとした《所在譚 hidden in "Cells of the City"》は、都市を主題に制作を続ける、上坂直の作品です。六本木の街なかに散りばめられたこれらの断片は、人間の痕跡やそこで起こった過去の出来事を彷彿させるものです。本作は、フィクション、記憶、現実を織り込み、人々の都市生活を物語る一篇のストーリーを綴ります。

- ・ 日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・ 場 所：街なか各所
- ・ 参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



● ONI

《存在の音色》

シャボン玉と音が融和する、没入型立体音響作品。2019年3月、世界初となる立体音響+電子音楽生演奏+シャボン玉をプログラミングした作品へ挑戦。人工生命をアートで表現し日本科学未来館での常設展示、2019年SXSW発表の作品からさらなる進化をとげ、15分に及ぶライブパフォーマンスという新たな表現を通じて空間の一体感を生み出す。先端的かつ幻想的な世界観の中で、一瞬に輝く美しさと、消えゆく儚さを表現し、観客に生命、存在の意義を問いかけます。

- ・日 時：5/25(土) ①19:00～19:10、②21:00～21:10、
5/26(日) ③11:00～11:10、④13:00～13:10、⑤15:00～15:10

※上記以外の時間で自動演奏を不定期開催

- ・場 所：六本木西公園（予定）
- ・参加料：無料



● 太田 代輔

《六本木アートナイトをもっと楽しむガイドツアー》

今年もボランティアによるガイドツアーを開催します。一般的な作品知識を伝えるツアーとは異なり、参加者と共に対話を重ねながら作品や六本木の街の魅力へと接近していきます。コースや参加者によって変化する個性的なツアーです。是非ご参加ください。

- ・日 時：5/25(土) 15:00～24:00
- ・ツアー開始場所：六本木西公園（予定）
- ・参加料：無料 ※詳細は公式サイトでお知らせします。

● din2

《オトガタリ『道の記憶』》

六本木の道を舞台に、さまざまな物語が語りかけてくる回遊型音声劇。スマートホンを使った「音声AR」システムにより、現実世界に加わった新たな聴覚情報。拡張されていく世界。道を歩く人にだけ聴こえてくる過去の街の物語。目の前に広がる現実と創造された物語とをオーバーラッピングさせながら世界に没入していく、新しい物語体験です。

- ・日 時：5/25(土)
- ①「#1703」 20:00～20:20 / 23:00～23:20 / 26:00～26:20
- ②「#1936」 20:30～20:50 / 23:30～23:50 / 26:30～26:50
- ③「#1945」 21:00～21:20 / 24:00～24:20 / 27:00～27:20
- ④「#2009」 21:30～21:50 / 24:30～24:50 / 27:30～27:50
- ※①～④でそれぞれ個別の内容になります。

- ・整理券開始場所：六本木西公園（予定）
- ・参加料：無料



体験者の様子

● エステル・ストッカー

《Knitterobjekt (仮)》

イタリア在住のエステル・ストッカーは、彫刻とインスタレーションを通じて、モノの形態や空間の性質を問う作品を制作しています。規則正しく繰り返す白と黒のパターンを、不規則な形状や、うねりのある模様に変容する立体作品は、平面や直線を重視する合理的都市空間から解放された「自由な形態」を表現するものです。

- ・日 時：5/25(土) 10:00～5/26(日) 18:00（予定）
- ・場 所：TRI-SEVEN ROPPONGI 周辺ほか（予定）
- ・参加料：無料



撮影：David Schreyer



《感覚の洗濯 in 小名浜》2017
撮影：松下千尋

● 西尾 美也
《着がえる公園》

服が一番身近な遊びの道具です。ここでは着がえることが遊びになる公園。昼はみんなで手洗いの洗濯をしてみよう。手洗いの洗濯は水遊びで、干すのは服の展示でまちの彩り。そうして干された服の万国旗の中で、ペット用の服を着たり、遊具やベンチの服をデザインしたり、砂場の気持ちになってみたりして、服が乾くまでの時間も一緒に過ごしてみよう。夜は干されたシーツに上映されたパジャマ姿を取材した写真を鑑賞しながら、「着がえる公園」の経験を絵本にしてみよう。公園に集うあなたと私と何かが着がえ、公園が着がえます。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~23:00、5/26(日) 10:00~18:00
- ・場 所：三河台公園 (予定)
- ・参加料：無料

プログラム詳細

○ワークショップ

- ①感覚の洗濯 | 手洗いの洗濯で公園を彩ろう
5/25(土) 10:00~16:00、5/26(日) 10:00~12:00
- ②ペットの人間 | ペット用の服を着てみたり、人間以外のための服をデザインしてみよう
5/25(土)、5/26(日) 10:00~18:00
- ③砂場の気持ち | 30人用の服を着てみよう
5/25(土)、5/26(日) 11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00、17:00
※所要時間10分程度
- ④着がえる公園 | トークイベントと絵本作り
5/25(土) 19:00~21:00
- ⑤絵本の時間 | ワークショップで作られた絵本を読んでみよう
5/25(土) 21:00~23:00、5/26(日) 10:00~18:00
※①と②と⑤は出入り自由 ③は各回定員30名先着順 ④は事前募集定員30名

○展示

- ⑥洗濯の展示 | ワークショップで作られた洗濯物の風景
5/25(土) 16:00~23:00、5/26(日) 10:00~18:00
- ⑦六本木パジャマナイト | プロジェクションによるファッションショー
5/25(土) 18:00~23:00



Illustration by MOE+

● MOE+

《イマーシブシアター『透明人間』》

六本木の夜に、透明人間たちが現れる。一夜限り、街全体を舞台にした役者不在の演劇公演です。影と音と道具を使った演出で、街回遊型インスタレーションを制作し、賑やかな六本木の街の中にささやかな「違和感」を仕込みます。突然この都会の真ん中に現れた彼らは、一体何を伝えようとしているのでしょうか。夜の街を巡って彼らと出会い、その囁きに耳を澄ましてみてください。日常の中にひっそりと佇む“Little Fantasia”に出会い、何かを感じとってください。

- ・日 時：5/25(土) 19:00~5/26(日) 時間未定
- ・場 所：未定
- ・参加料：無料

※展示時間と場所に関する詳細は公式サイトでお知らせします。

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム

六本木商店街

● Roppongi Art Night Photo Spot

六本木の街の中心「六本木交差点」に「六本木アートナイト2019」に参加した人たちが記念撮影を行う素敵なフォトスポットが登場します。

- ・日 時：5/25(土) 10:00~5/26(日) 18:00
- ・場 所：ラピロス六本木
- ・参加料：無料



六本木アートナイトでは、一夜限りのアート散策を誰もが不安なく楽しめるように、障害のある方や車椅子やベビーカー等の方を対象にしたインクルーシブ・ツアーと、主に海外からの来場者等に向けた外国語ガイドレクチャーを実施します。みんなで、都心でのアート散策を一緒に楽しみましょう。

● インクルーシブ・ツアー

六本木アートナイトをさまざまな人たちとめぐるツアーを開催します。今回は視覚障害のある人とともにめぐるツアー、車椅子やベビーカー等を利用する人とめぐるツアーを実施します。参加者同士で、作品やまちの魅力発見を楽しみましょう。

- ・日 時：5/25(土)、5/26(日) の日中開催予定
- ・場 所：六本木ヒルズ周辺ツアーほか
- ・参加料：無料 ※申込み方法等の詳細は公式サイトにてお知らせします。
- ・協 力：NPO法人エイブル・アート・ジャパン



shinya kigure+Locul p

● 外国語ガイドレクチャー“Speakeasy at Roppongi Art Night 2019”

海外からの来場者等に向けた外国語ガイドレクチャーを開催！出展作品の文化的背景や街の歴史を織り交ぜながら、アートナイトをより楽しく巡るポイントを専門スタッフがレクチャーします。

- ・日 時：5/25(土) 17:00~23:00、5/26(日) 10:00~16:00
※レクチャーは毎時0分より開始。それ以外の時間はスタッフが常駐します。
- ・場 所：六本木ヒルズ ノースタワー1F (予定)
- ・参加料：無料 ※事前申込み不要 ※詳細は公式サイトにてお知らせします。
- ・協 力：Art Translators Collective (田村かのか、山田カイル)



© 2018 Kenji Seo

六本木アートナイト2019 開催概要

- 正式名称： 六本木アートナイト2019
- 開催趣旨： 「六本木アートナイト」は、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木を舞台に、現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス等の多様な作品を街なか点に在させ、非日常的な一夜限りの体験をつくり出す本イベントは、東京を代表するアートの祭典として2009年3月にスタートし、年々発展を続けております。
- 日 時： 〈メインイベント〉 2019年5月25日(土)10:00~5月26日(日)18:00
※「六本木アートナイト2019」の開催に先駆けて展示、設置するアートプログラム「プレプログラム」、通年で事業評価検証事業等も実施予定
- 開催場所： 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
- 入場料： 無料(但し、一部のプログラム及び美術館企画は有料)
- お問い合わせ： 03-5777-8600 (ハローダイヤル) ※年中無休 (8:00~20:00)
- 主 催： 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、港区、六本木アートナイト実行委員会
【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】
- 助 成： 平成31年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業

公式サイト：<http://www.roppongiartnight.com/>
Facebook：<https://www.facebook.com/RoppongiArtNight/>
Twitter：https://twitter.com/r_artnight
Instagram：https://www.instagram.com/roppongi_art_night_official/
※ハッシュタグ：#六本木アートナイト2019、#RoppongiArtNight2019

*すべてのプログラムの内容は、当日の天候や諸般の事業により予告なく変更または中止する場合がございます。

「オープンコール・プロジェクト」とは：

2015年に開始した六本木アートナイト参加作品の公募を行うプロジェクトです。
今年にはインスタレーションとパフォーマンス合わせて14プログラムを開催します。

- 田中 誠人 《フルムーン・エフェクト》
- 大村 雪乃+松田 暁+堀 和紀 《唄う蜘蛛の巣》
- 福澤 貴之+諸星 智也+油井 俊哉 《エスカレーターミュージアム》
- tantan 《ほつれ。》
- 鈴木 ユキオ 《堆積 -Accumulations-》
- VIKI 《Spin a Memories.》
- つちや あゆみ 《昼の音、夜の音》
- 角 文平 《スリープ》
- 上坂 直 《所在譚 hidden in “Cells of the City”》
- ONI 《存在の音色》
- MOE+ 《イマーシブシアター『透明人間』》
- 武内 満 《リップル》
- psychē collective 《/psychē / -ブシュケー-》
- 野村 律子 《記憶のトレース》

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (PR01.内) 担当：三上・小谷
TEL：03-5774-1420 FAX：03-5774-1409 Mail：ran2019@one-o.com